

# チャペル週報

No. 3

2013.4.22～4.26

わたしたちの一時の軽い艱難は、比べものにならないほど重みのある永遠の栄光をもたらしてくれます。わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。

(コリントの信徒への手紙二4:17-18)



西宮聖和キャンパス ダッドレーメモリアルチャペル

関西学院宗教センター

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

- 4月22日(月) 神 宗教総部  
経 舟 木 讓 (宗教主事)  
人 石 川 久 展 (人間福祉学部教授)  
聖和 聖書物語「新しい歩み」
- 
- 4月23日(火) ランバスチャペルアワー「試練と希望」ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)  
院 ランバスチャペルアワーに合流  
神 ランバスチャペルアワーに合流  
文 上ヶ原ハビタット  
社 グリークラブ  
法 音楽賛美シリーズI エゴラド  
経 学生生活オリエンテーション (予備日①)  
商 海外での奉仕を考えるチャペル 上ヶ原ハビタット  
国 カルトから身を守る(1)  
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)  
総 細 見 和 志 (総合政策学部教授)
- 
- 4月24日(水) 神 中 道 基 夫 (神学部教授)  
社 建学の精神 — KG Spiritとは — ② 打 樋 啓 史 (宗教主事)  
法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen (宣教師)  
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)  
商 音楽チャペル バロックアンサンブル  
国 カルトから身を守る(2) 平 林 孝 裕 (宗教主事)  
聖和 ヒューマンサービスセンター協働プラットフォーム  
理 音楽礼拝 理工学部アンサンブル  
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
- 
- 4月25日(木) 神 向 井 考 史 (神学部教授)  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 上ヶ原ハビタット  
法 イースターを覚えて 栗 林 輝 夫 (宗教主事)  
経 学生生活オリエンテーション (予備日②)  
商 聖歌隊による讚美歌指導  
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)  
聖和 イースター礼拝「十字架のこちらと向こう」  
総 KSCY (Kobe Sanda Christian Youth)
- 
- 4月26日(金) 神 東 よしみ (神学部助教)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)  
経 音楽チャペル 混声合唱団エゴラド  
人 上ヶ原ハビタット  
聖和 「ほめることって大切」 和 田 薫 (教育学部准教授)  
理 音楽礼拝 理工学部ハンドベル
- 

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)  
4月26日(金) 理工学部のために 北 村 泰 彦 (理工学部教授)

---

# 高田三郎先生のこと

本 田 盛

「水のいのち」や「心の四季」など合唱曲を中心に数多くの作品を残し、2000年に86歳で亡くなられた高田三郎先生は、日本の代表的な作曲家のひとりとして活躍された一方で、教会音楽をライフワークとされていた。讃美歌21にもいくつか収録されているが、先生が作曲された教会音楽は200曲をこえる。

先生はご自身の教会音楽を録音として数多く残されている。私は学生時代、同じ教会に所属していたこともあり、高田先生に声をかけていただいて、合唱メンバーとしてレコーディングに2度ほど参加したことがある。本番は先生が指揮をされて丸一日がかりで行われたが、毎回本番に先立って合宿と称した総合練習があり、高田先生が直接合唱指導をされた。

うまくできないと烈火のごとく怒り出す高田先生の指導はつとに有名だったが、これは先生の音楽に対する思いと情熱の表れだったのであろう。合宿や本番前のリハーサルでは、怒鳴られながらも実に多くのことを教えていただいた。つねに口にされていたのは、教会で歌う音楽は言葉を伝えることが目的なのだということであった。それまで日本の教会音楽は欧米の歌詞を翻訳したものが主流であり、言葉を伝えるというよりメロディーがなじみ深いということで歌われていたものが大半であった。日本語で歌われる教会音楽には、日本語のために作曲された音楽が必要なのだと高田先生は力説されていた。

高田先生の楽譜には八分音符、付点音符、休符がならぶ。それを見ただけでも、まさに日本語の発音やリズムが音楽のかたちで表現されていることがわかる。先生はあくまでも日本語を豊かに伝えるための教会音楽をつくろうとしたのである。

先生は発音、アクセント、フレージングにはとくに厳しかった。音楽は日本語を伝える一方で、日本語も音楽によって規定されることがあるという。たとえば、高田先生の詩編唱和では詩編の句や文全体に全音符が一つつけられていることが多い。あまり意識していないと、全音符が一つあるだけなのでこれらを適当な長さや早さで歌ってしまう。すると一喝、「何のために全音符がついているんだ！音の長さを考えろ」と。

今となっては遠い過去の思い出だが、体にしっかりと刻まれた思い出である。

(総合政策学部教授)

## ●チャペル・オルガニスト募集

関西学院大学では毎年チャペル・オルガニストを募集しており、本年は4月27日(土)にオーディションを行います。採用されますと個人レッスン(有料)を受けることができ、チャペルの奏楽をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身につけることができます。

応募方法:「募集要項」「応募用紙」を西宮上ヶ原キャンパスは宗教センター(吉岡記念館)、神戸三田キャンパスはキャンパス事務室(アカデミックcommons)、西宮聖和キャンパスはキャンパス事務室教育学部担当(1号館)で受け取り、必要事項を記入した「応募用紙」を上記の事務室に提出してください。また、電子メールの添付ファイルでも受付します。

☆「募集要項」「応募用紙」がHPからダウンロードできます。

関西学院大学→宗教センター→学生団体の紹介

教学Webサービス:お知らせ

応募期間:4月1日(月)~4月25日(木)の事務室開室時間

お問い合わせ・資料請求:宗教センター オルガニスト募集担当

電話:0798-54-6018、E-mail:organist@kwansei.ac.jp

## ●関西学院イースター礼拝

イエスの復活を覚えて、関西学院のルーツを探してみましょ。う。

参加者にはイースターエッグ(ゆで卵)をプレゼントします。

と き:4月24日(水)17:00~18:00

と ころ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催:関西学院宗教活動委員会

協 力:宗教総部、チャペルオルガニスト、聖歌隊、ハンドベルクワイア、

ゴスペルクワイア“P.O.V.”、バロックアンサンブル

## ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。(18:00~18:20 1405教室)

4月26日(金) Andrea Rusterholz(文学部宗教主事)

## ●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。5月に入ると、関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

5月9日(木) 関西学院グリークラブ

5月16日(木) 関西学院大学混声合唱団エゴラド

5月30日(木) 関西学院バロックアンサンブル

6月3日(月) 関西学院大学応援団総部吹奏楽部

6月4日(火) 関西学院交響楽団管楽アンサンブル

6月6日(木) 関西学院聖歌隊

6月10日(月) 関西学院交響楽団弦楽アンサンブル

6月13日(木) 関西学院ゴスペルクワイアPower Of Voice

いずれも12時50分~13時20分

と ころ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催:宗教センター・宗教音楽委員会

## ●第193回ランバス演奏会

リュート伴奏による「17世紀のフランスとイギリスの歌曲」

平井満美子/ソプラノ 佐野健二/アーチリュート

沈黙と神秘/ボワモルティエ こよなく美しい島/パーセル

リュートをかたわらに/ブロー ほか

と き:5月9日(木)17:00開演

と ころ:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催:宗教センター <入場無料>